

# 令和7年度 武藏野小学校アンケート 保護者回答の結果

実施期間	令和7年11月19日（水）から12月8日（月）まで
対象	全校児童354名の保護者（児童一人ずつ回答）
実施方法	Googleform（インターネット）による回答
回答率	58.5%（回答数 207件）

## ○市内共通設問<市平均比>

### 令和7年度 保護者アンケート（市内共通） 肯定的評価割合

■ R7武藏野小 ■ R7市平均

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

1 【小中一貫教育】  
学校が小学校と中学校の教育をつなぐため、乗入れ授業等（英語の授業等で中学校の教員が小学校で授業を行う等）していることを知っている。

2 【確かな学力の定着】  
学校は、児童の確かな学力の定着に向け、授業の流れを示し見通しをもって児童が学習を進められるようにするなど、授業の工夫や教材の開発を行っている。

3 【授業改善】  
学校は、授業の充実に向け、ICT機器等を活用するなど工夫している。

4 【特色ある教育】  
地域や児童の実態を踏まえ、特色ある学校づくりに向けて努力している。  
(1. むさしのリーダーシップ。2. コグトレ3. 地域人材等の活用。)

5 【教育課題】  
児童同士の学び合いを多く取り入れたり、端末等を活用して自身の学びを発信する場を設けたりして、新しい教育課題に対応した教育を行っている。

6 【人権教育・道徳教育】  
自他を大切にする心やきまりを守って生活する態度、物事の善悪を判断する力等の育成について、授業を通して適切に行っている。

7 【特別支援教育・教育相談】  
個に応じた支援ができるよう多くの人材を活用し、特別支援教育や教育相談の充実に努めている。

8 【いじめ・不登校対応】  
学校は、児童や保護者の相談に対して親身に対応し、いじめや不登校などの防止や対応を適切に行う努力をしている。

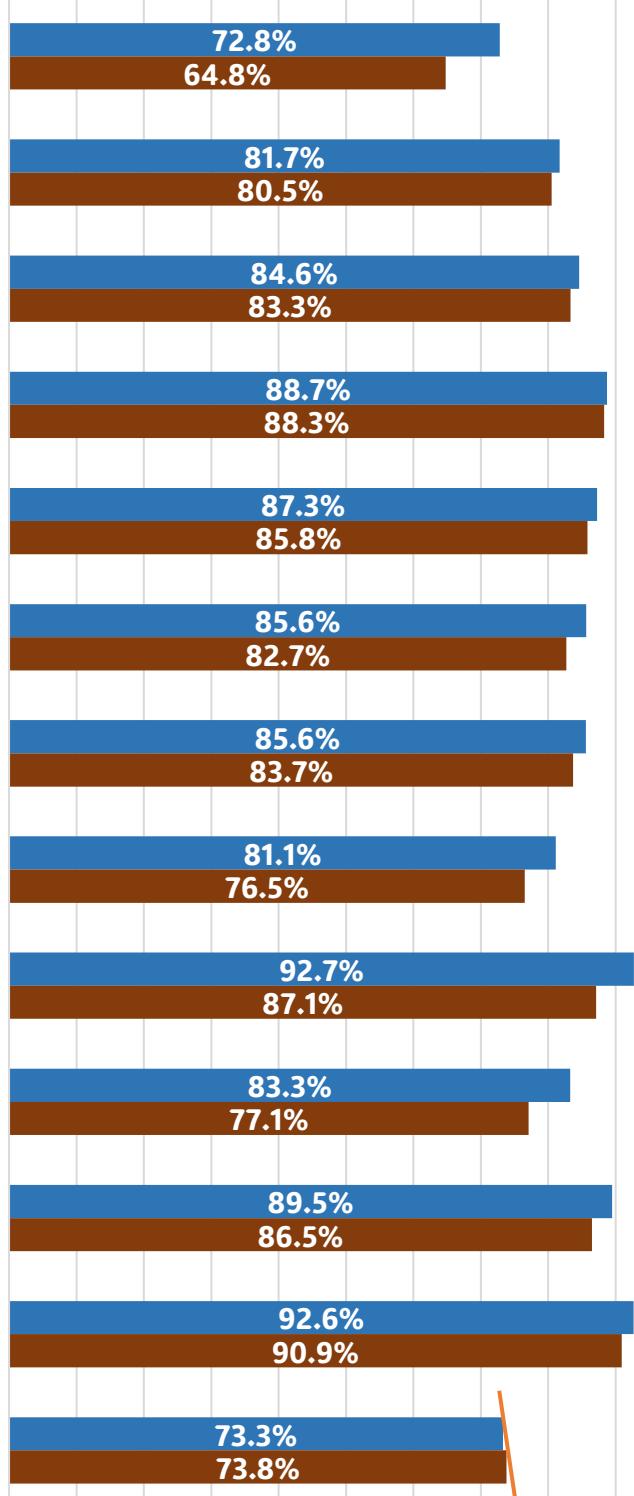
9 【教育活動の公開】  
学校は、学校の様子を積極的に伝え、教育活動の公開に努めている。

10 【家庭教育への支援】  
学校は、保護者による児童の教育に役立つように、家庭教育への支援を適切に行う努力をしている。

11 【児童・生徒理解に基づく指導】  
学校は、体罰等の防止に努め、児童との信頼関係に基づく指導を行う努力をしている。

12 お子さんは、学校に楽しく登校している。

13 お子さんは、家庭学習をする習慣が身に付いている。



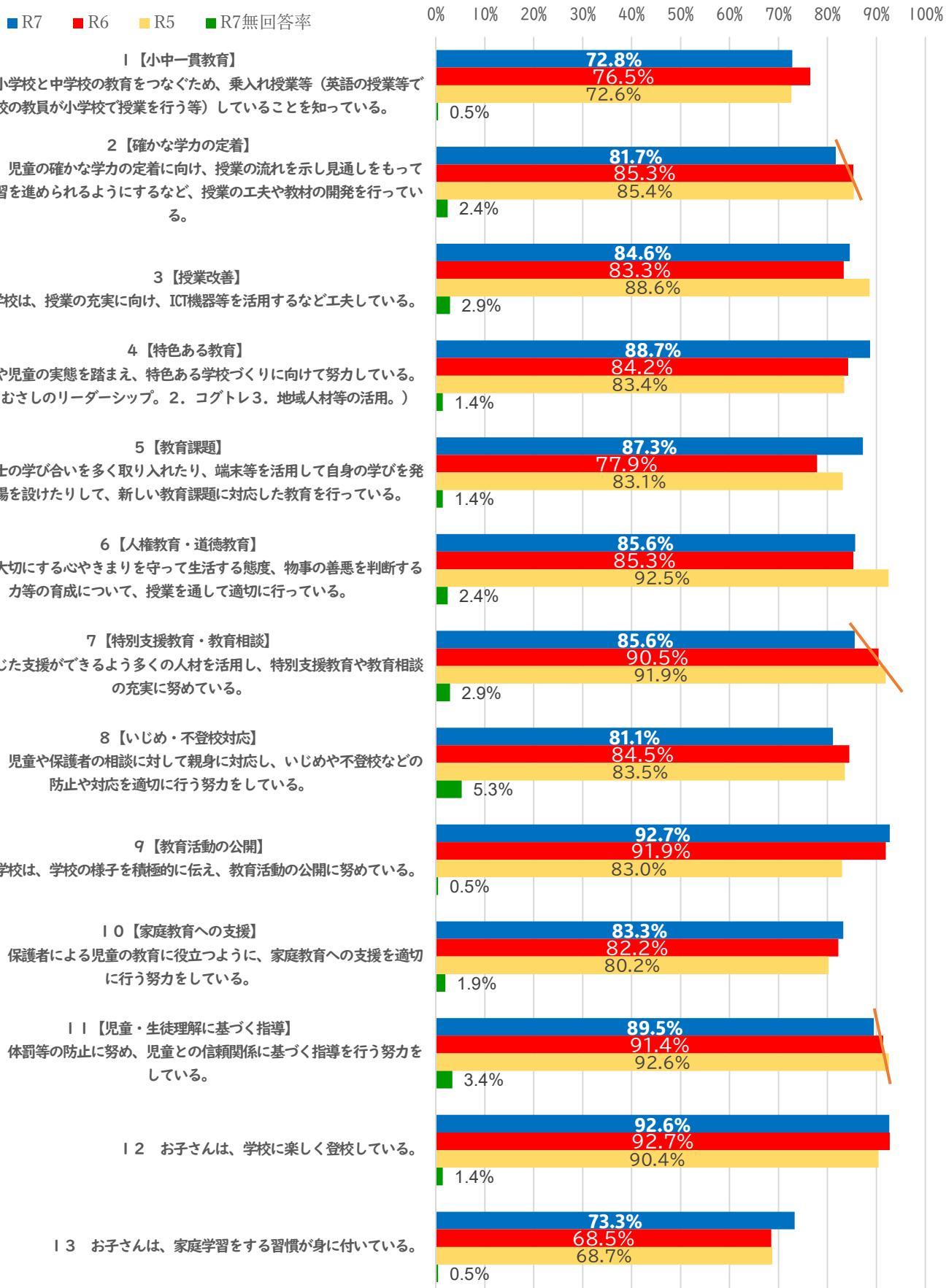
肯定的評価の全体の割合は84.5%で、12項目で市の平均を上回っていた。

【1】は学年が下がるほど数値が低くなる傾向があり、小中一貫の活動についての発信に努める必要がある。

【13】は改善しつつあるものの、本校の課題として継続して習慣の定着に取り組んでいく必要がある。

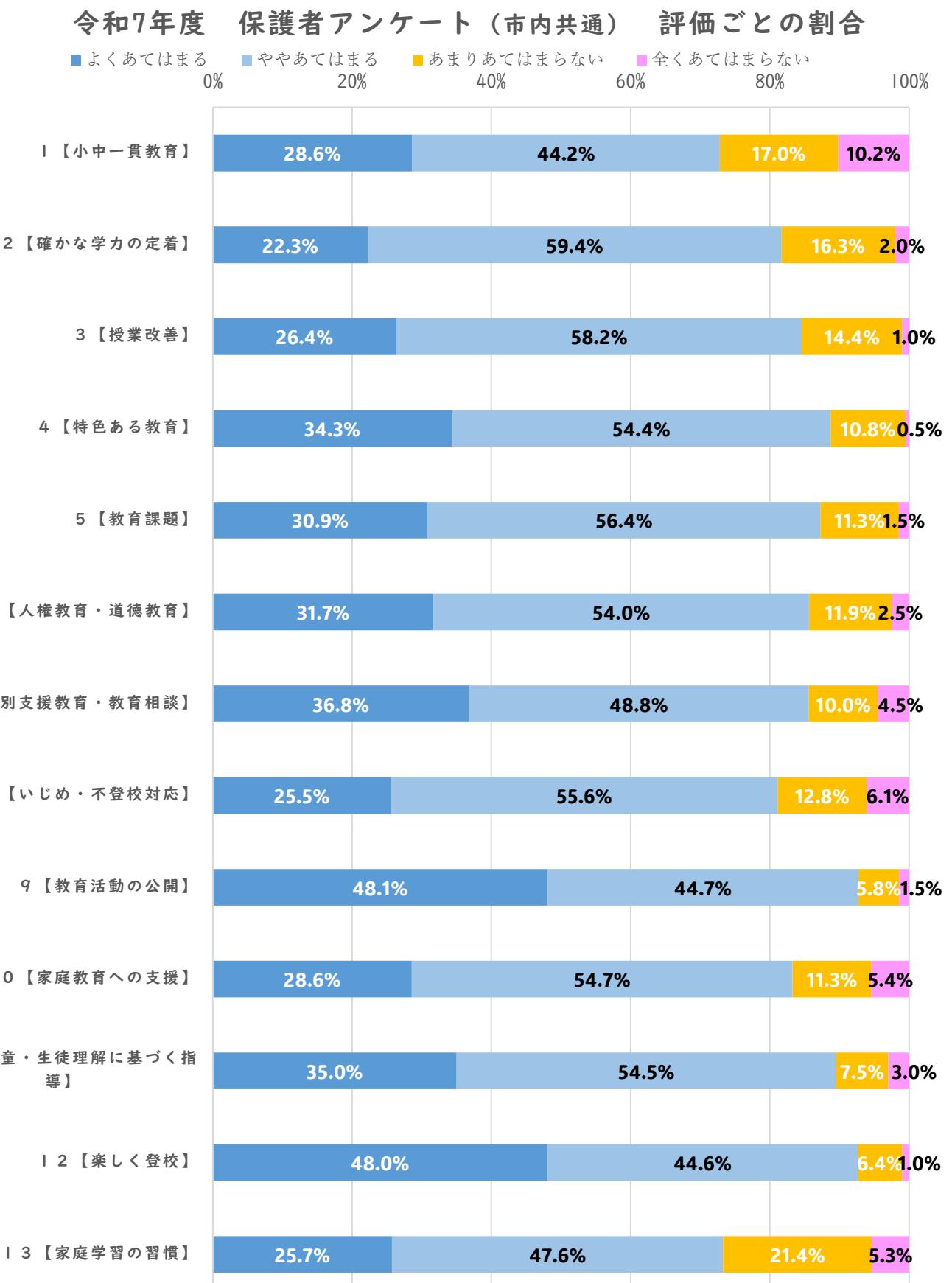
## ○市内共通設問 <3か年比較>

### 令和7年度 保護者アンケート（市内共通）3か年比較



【2】【7】【11】は肯定的な意見が8割を超えており、2年連続で低下している。全校で授業改善を図るとともに、個別に応じた支援が充実できるよう、引き続き関係諸機関と連携しながら、児童・保護者への安心感につながる手立てを講じていく。

## ○市内共通設問 <評価ごとの割合>（無回答は除く）

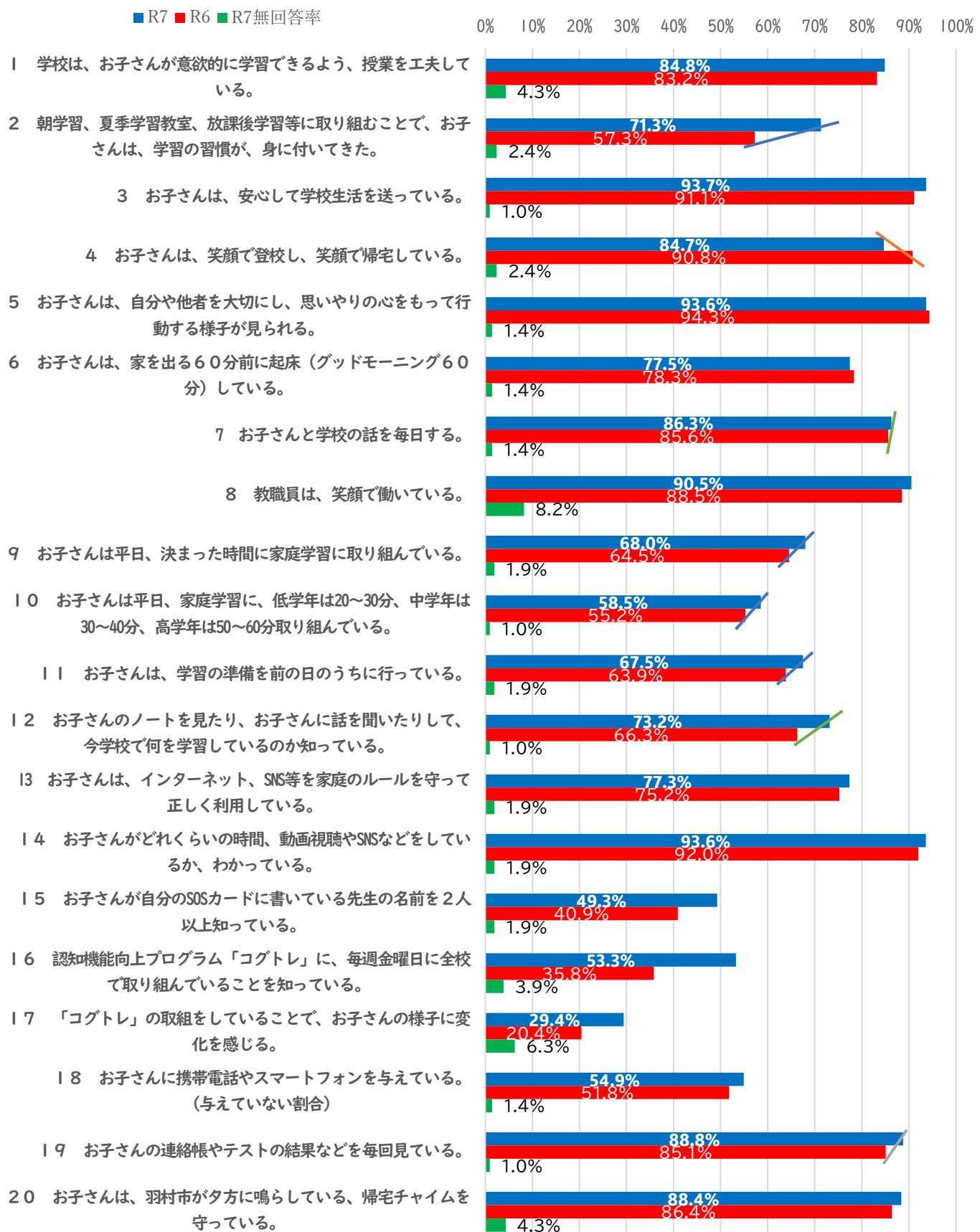


【1】【2】【8】【10】【13】の否定的な意見（特にピンクの割合）を真摯に受け止め、改善を図っていく。【8】に関しては、無回答率も高く、一層の情報発信をするとともに、児童・保護者に寄り添った体制を構築していく必要がある。

【10】に関しては、次年度は外部講師を招聘し、道徳授業地区公開講座の講演会で行ったような「むさしのリーダーシップ」に関連した啓発セミナーを行っていく予定である。

## ○本校独自の設問 <2か年比較>

### 令和7年度 保護者アンケート（武小独自）2か年比較

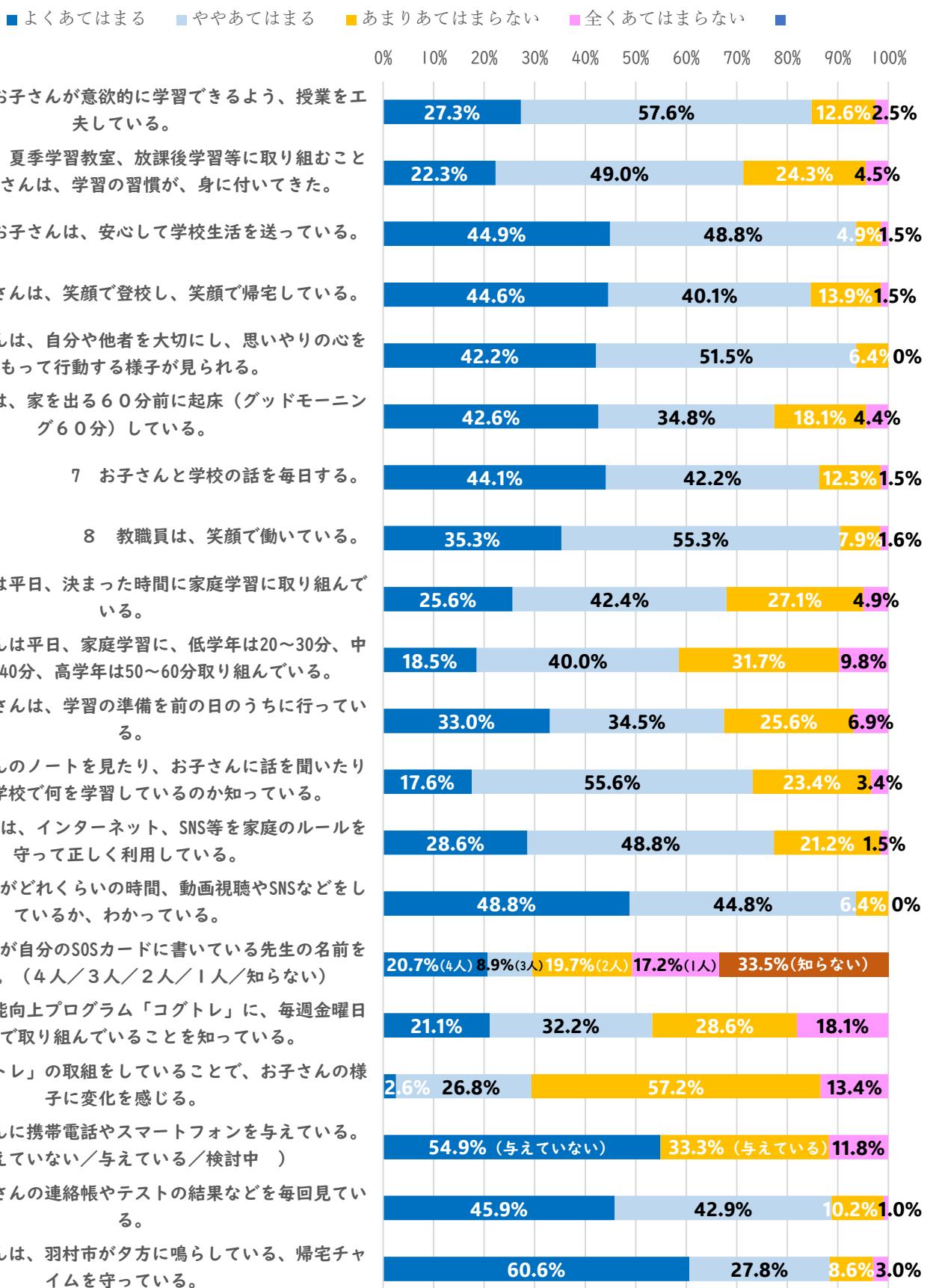


【2】【9】【10】【11】は、昨年度より向上しており、学習習慣の定着が図られていることがわかる。これは、【7】【12】【19】の向上からも分かるように、ご家庭での関わりや声掛けの成果の賜物である。引き続き、学校と家庭が一体となり、習慣の確立に努めていく。

【4】の低下は、本校が目指す「元気いっぱい 笑顔でつながる武蔵野小」としては早急に改善を図る必要がある。いじめ・不登校対応をはじめとした、児童が安心できる環境・関係づくりの取組を行っていく。

## ○本校独自の設問 <評価ごとの割合> (無回答は除く)

### 令和7年度 保護者アンケート (武小独自) 評価ごとの割合



学習習慣は以前より定着しているものの、【9】【10】を見ると4割の児童が未定着であることがわかる。より効果的でやりがいを感じられる家庭学習になるよう、検討と啓発を重ねていく。

【6】グッドモーニング60分の定着を図り、遅刻を無くし、朝から気持ちよく学習できるようにする。

【17】全校で取り組んでいるコグトレの効果がより発揮させられるよう、より積極的に取り入れていく。